

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/30 （6/23との比較）	6/30 （6/23との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.76% （+0.29）	86.71円 （+3.37%）	+2.3% 2017年1Q	0.50%	4月のGDP（国内総生産）（前月比）は市場予想通りの内容。ポロズ中銀総裁などのコメントを受け、利上げ観測が一段と高まった。国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。	国際商品貿易や雇用統計、住宅着工件数などの発表が予定され、引き続き景況感の改善度合いを見極める状況。12日の中銀の政策動向に対する見方が交錯する中、債券・為替市場は一進一退の動きを想定。
	Aaa	 金利横ばい	 景気安定	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.87% （▲0.13）	33.97円 （+2.05%）	-0.4% 2017年1Q	10.25%	同国の政治動向に市場の注目が集まる中、29日に開催された国家通貨審議会などでインフレ目標が引き下げられたことなどから、国債利回りは低下。レアルは対円で上昇。	インフレ統計や鉱工業生産、製造業PMIなどの発表を予定。マクロ経済の改善が継続しているか注目。市場では同国の政治リスクへの警戒感が引き続き根強いことなどから債券・為替市場は神経質な展開を想定。
	Ba2	 金利低下	 景気回復	 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.63% （+0.08）	6.20円 （+0.30%）	+2.8% 2017年1Q	7.00%	米欧の中銀当局者の発言を材料に世界的に金利上昇圧力がかかる中、国債利回りは上昇。週後半にかけて新興国通貨が弱い地合いとなる中、ペソは対円で上昇。	インフレ統計などの発表を予定。債券市場では金融政策の転換期をにらみながら、低下圧力がかかりやすい展開になることを想定。ペソはNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の動向をにらみつつ神経質な展開を予想。
	A3	 金利低下	 景気安定	 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/30 （6/23との比較）	6/30 （6/23との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.60% （+0.23）	86.42円 （+2.62%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	米欧の中銀の金融緩和政策の転換を示唆するメッセージを背景に、世界的に金利は上昇。中国の製造業PMIが市場予想を上回ったことなども背景に、国債利回りは上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	中銀は政策金利を据え置くとの見方が大勢となる中、小売売上高や貿易収支の発表を予定。米国の雇用統計なども注目される中、債券・為替市場は方向感に欠ける動きを想定。
	Aaa	 金利横ばい	 景気安定	 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.98% （+0.25）	82.38円 （+1.63%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	5月の貿易統計では輸入が増加し貿易黒字が前月から縮小したものの、6月の企業景況感指数は前月から改善。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	住宅価格などが発表される予定。景気は総じて底堅く推移しているが、インフレ率が安定していることもあり、政策金利は当分の間据え置かれる見込み。
	Aaa	 金利横ばい	 景気安定	 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.65% （+0.15）	13.45円 （+2.08%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	5月の小売売上高は前月比横ばいと市場予想に反して増加。失業率は低水準で横ばい。良好な経済指標に加え、原油価格が上昇したことから、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	原油価格が急激に上昇しない限り早期に利上げが行われる可能性は低い。製造業PMIや鉱工業生産、インフレ統計などの重要な経済指標が発表されるものの、同国金融市場は引き続き原油価格動向に左右される見込み。
	Aaa	 金利横ばい	 景気安定	 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
















※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（南アフリカ、インドネシア、インド）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/30 (6/23との比較)	6/30 (6/23との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	<b>7.76%</b> ( +0.21 )	<b>8.58円</b> ( ▲0.27% )	<b>+1.0%</b> 2017年1Q	<b>7.00%</b>	貿易収支は黒字幅が拡大。同国が景気低迷から脱するには、外部支援が必要となる可能性があるとの財務相の発言を受けて、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業PMIなどの発表を予定。中銀の独立性を巡る議論や大統領不信任投票の8月実施予定など、政治的な不透明感の残存から債券・為替市場ともに不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇	 為替下落	 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	<b>6.67%</b> ( +0.00 )	<b>0.84円</b> ( +0.84% )	<b>+5.0%</b> 2017年1Q	<b>4.75%</b>	同国市場がラマダン明けの祝日により休場であったため、国債利回りは横ばい。市場全般で円安傾向となった影響から、ルピアは対円で上昇。	製造業PMIや外貨準備高、インフレ統計などの発表を予定。インフレ上昇圧力が高まりつつあるも、中銀のインフレ目標範囲内の推移が見込まれる。国債利回りの上昇は限定的であり、ルピアは底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	<b>6.61%</b> ( +0.06 )	<b>1.73円</b> ( +0.52% )	<b>+6.1%</b> 2017年1Q	<b>6.25%</b>	財政赤字額は赤字幅が縮小。週末にGST（物品・サービス税）の導入を控える中、国債利回りは上昇。市場全般の円安を受けて、ルピーは対円で上昇。	製造業PMIなどの発表を予定。週末に導入されたGSTは短期的な消費鈍化を招く懸念があり、同国経済への影響に注意。債券・為替市場ともに同税制の動向に左右される展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

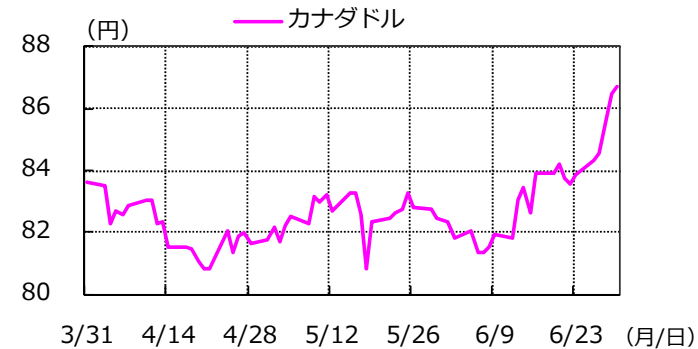
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

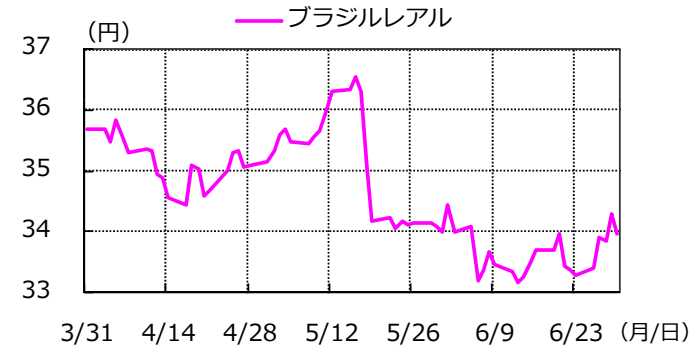
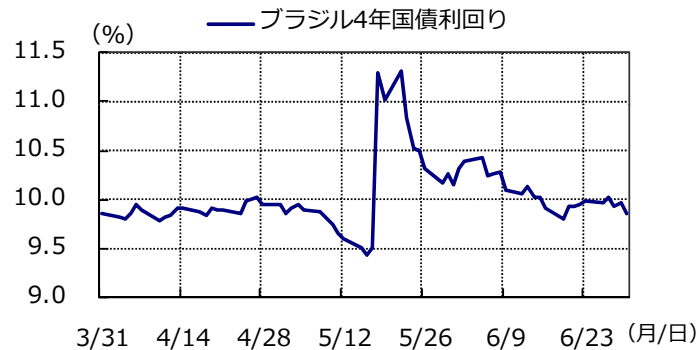
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/31～2017/6/30

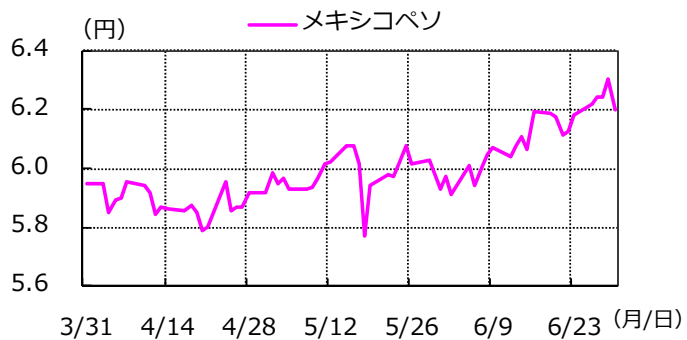
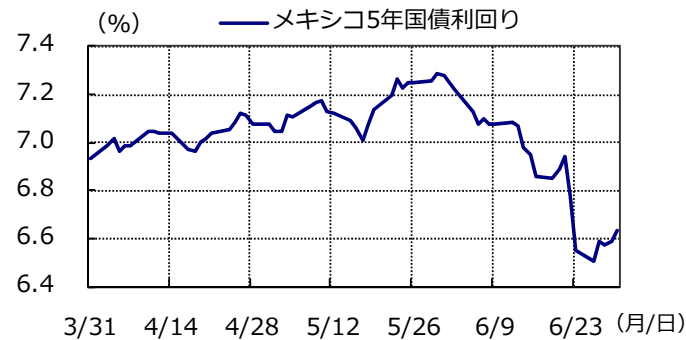
カナダ



ブラジル



メキシコ

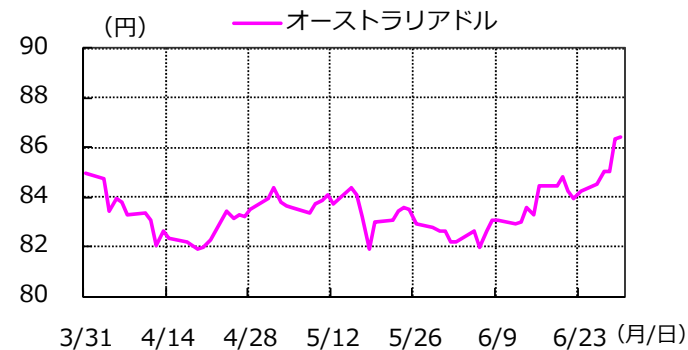
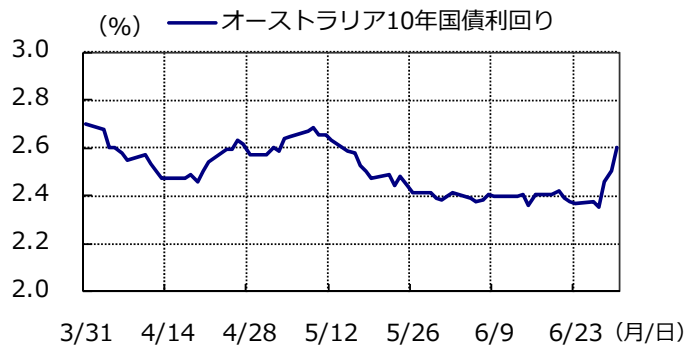


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

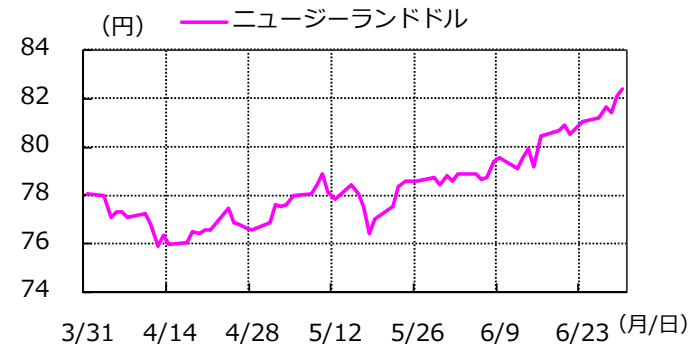
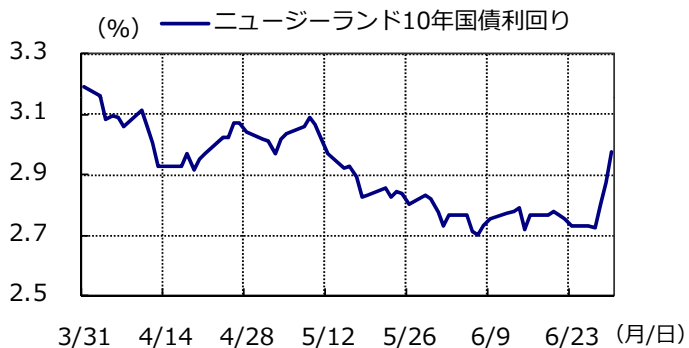
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/3/31～2017/6/30

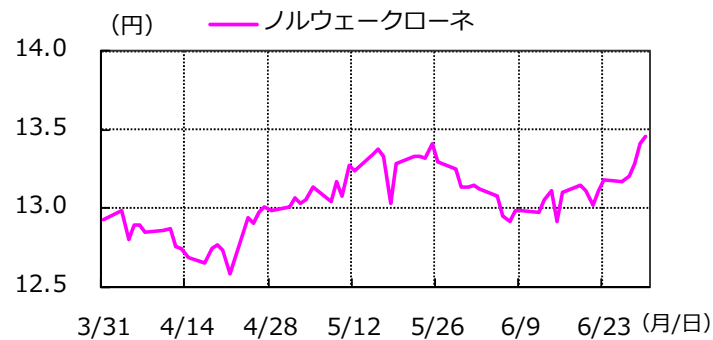
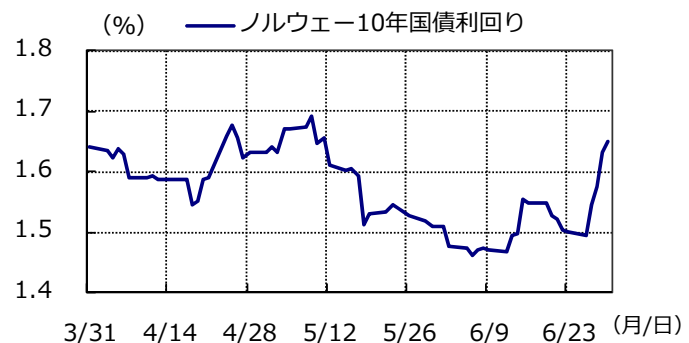
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



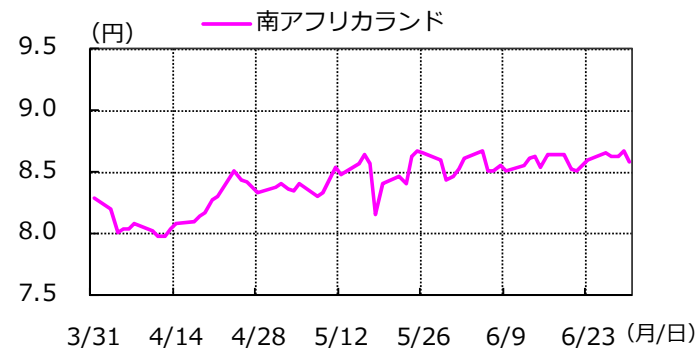
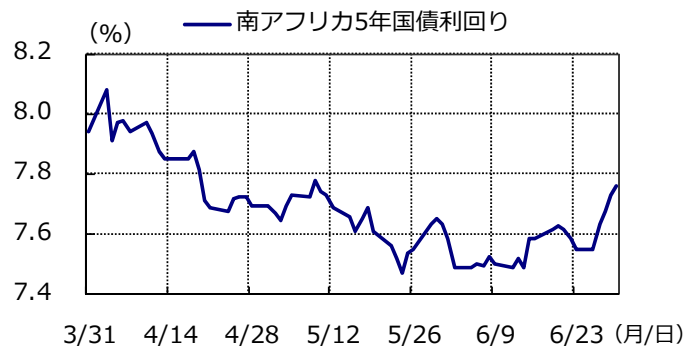
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

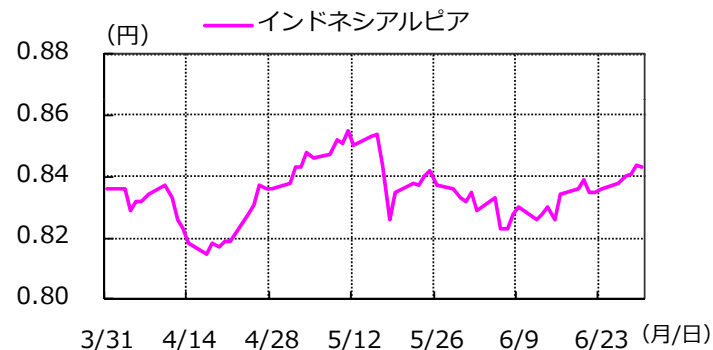
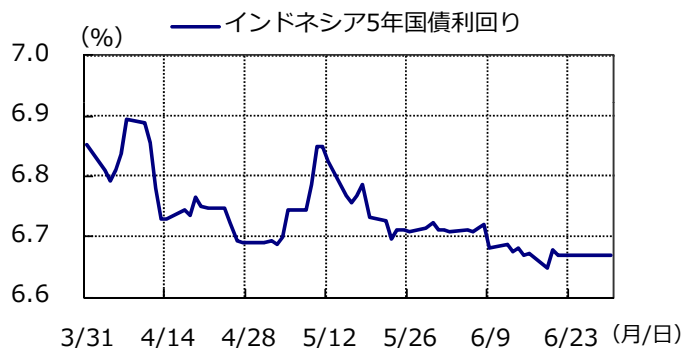


期間：2017/3/31～2017/6/30

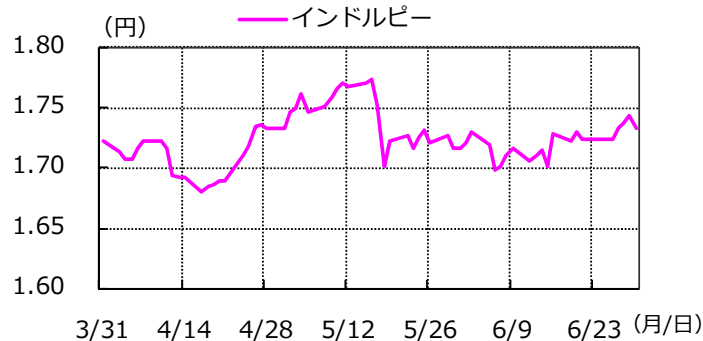
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。